

ふれあいトーク記録書 （ きてちょ～議会報告会 ）

開催日時： 令和7年10月25日（土） 午後2時～午後3時30分

場 所： 生涯学習センター 研修室1

参加人数： 参加者：14人 議員：須藤、谷平、梅村、鬼頭、水野、堀江、大野、日比野、井上、伊藤、関戸、塚崎、木村、梶谷

- 次 第：
1. 開会挨拶 市議会議長 須藤智子
 2. 主な決算内容についての報告
 3. 質疑応答及び意見交換
 4. その他
 5. 閉会挨拶 市議会副議長 谷平敬子

記録者： 堀江

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
財務常任委員会 令和6年度 決算審査報告	① 国民健康保険、介護保険の会計についても今日の報告に入れてほしかった。	① 国民健康保険会計や75歳以上の後期高齢者の会計、介護保険の会計は市民生活にかかわる大事な会計である。次回は報告できるよう努力する。
婚活事業について	① 若い人が婚活すること、婚活事業では対象年齢のズレはないか。 ② 婚活の現状を踏まえて、削減、廃止とか書かれているのか。 ③ 成婚率はどうか。そこが多ければ、参加者も増えてく	① 実際今結婚をされている方の3組に1組はマッチングアプリで結婚している。市が行うもの以外で結婚している率が高いことは十分承知をしている。市が行う事業は時代遅れかもしれない。 ② 議員の7名は、廃止や削減といった意見である。少子化

	<p>ると思うがどうか。やりっぱなしということか。</p> <p>④ 婚活パーティーの参加人数が少ないと思う。さらに実際結婚される方も少ないと思う。そもそも岩倉市が好きな人、ファンが増えることが大事だと思う。</p> <p>⑤ 産みたいと思っている人がどうして産めないのかというところを視点を置いたほうが良いと思った。</p>	<p>対策で継続といった意見もある。</p> <p>③ 正確な人数は個人情報ということで把握していない。お付き合いしようというケースもある。メタバース婚活は県内初の事業である。新しいチャレンジのため、評価したい。</p> <p>④ 岩倉市が好きな人が増える、そんな発想で事業展開できるとよい。</p>
<p>ふるさと岩倉応援給付金について</p>	<p>① ふるさと納税の返礼品をみたが、魅力的なものではない。</p> <p>② 石塚硝子のかわいいグラスがあるが返礼品に入れられないか。</p> <p>③ 以前は他の自治体の出していたふるさと納税をしている自治体が少なかった。7,000万円が岩倉市の実力とを感じる。品目を増やす意見もあったが、それは事業所が決めること。「桜を守ることに使う」など使い道をしっかりと打ち出すことに重きを置いたほうが良いのではないか。</p> <p>④ もう少し教えてほしい。マイナス額が数千万円ですか？</p>	<p>① 人気なのは、名古屋コーチン関係かナポリピザおせちである。分析して、どんなニーズがあるか把握し、充実をはかり、魅力アップに繋げる必要がある。</p> <p>② 特産品がある地域と比べると負けてしまう。返礼品に苦しんでいる自治体はたくさんある。</p> <p>③ ご意見をいただいた。</p> <p>④ 入ってくる寄付金額と市民の税金が控除されている額を相殺すると、数千万円毎年赤字になっているのが現状。そのうち7割分が地方交付税で国からもらえるといった仕組みのため、毎年かろうじてトントンである。制度そのものを考える時期にきていると考える。</p>
<p>議員の紹介ページについて</p>	<p>① 今の議員は SNS アカウントを持っている人が多いと思う。URL リンクを記載できないのか。</p> <p>② その議員の考えなどがわかりやすくなるため、個人的には合ったほうが良いと思う。</p>	<p>① 今のところは、議会の HP は議会全体の PR の場であり、議員個人を PR する場ではないと考える。</p> <p>② 新しく議員を目指したいという方が、不利益になるのではないか。検討していく。</p>

さくらマイボトルについて	さくらマイボトル情報の YouTube をみた。作った過程だけで、機能や効能などの情報がない。工程半分使い方半分だとよかった。	担当課に伝えておく。
病児病後児保育事業について	<p>① 病児保育の削減は反対。たまたま使う人がいなかっただけで、あることで安心して働ける。</p> <p>② 利用する小さな子がいる家庭に対して周知はしているのか？</p> <p>③ 保育園利用者と幼稚園利用者には市が用意した仕組みとして連絡がいつている。手元に手引きがある。利用者がいないことはいいことでもある。</p>	<p>① コロナがあって、働き方も様々変わってきている。これからの社会変化を見ながら必要な枠まで削減していけばいいと考える。</p> <p>② 利用していないから知らないのではといった考えもある。確認しながら縮小も考えていく。</p>
人件費について		人件費が上がっている件だが、一部は交付税の方で措置をされている。職員の給料基準というのは、全国的な標準の給料表を使っており、国で決められたものをそのまま岩倉市は採用している。物価高騰が続いている中で、民間も人件費をあげてきている。人事院勧告で民間の企業の水準に基づいて公務員も給与水準を決めている。9月議会で、特に小規模の事業者や中小企業に直接支援をすべきではないかと意見書を国にあげた。